

**「生活習慣病予防のための機能性食品開発に関する研究会」
アグロメディカル・イニシアティブとの連携
の案内と会員募集**

「食と運動の機能性に関する研究会」のさらなる発展に向けて

特定非営利活動法人 近畿バイオインダストリー振興会議

平成18年から活動してまいりました「食生活と運動の機能性に関する研究会」は、発足から4年を過ぎ、その間、京都府立医科大学 医学部 吉川敏一教授、元 東京大学 荒井綜一教授を中心に、健康で活力ある生活と社会を維持するための重要な要素である食と運動の機能性の関りを解明し、第3期科学技術基本計画に掲げられた生涯はつらつ生活を実現するための研究情報を集積し、医学関係者の理解と連携を得、新しい機能性評価システムを構築することで、新しい食品、健康産業の立ち上げを目的に活動してきました。

平成19、20年度には、日本臨床内科医会と連携し、機能性食品素材の臨床現場での評価・新規機能性食品の素材探索につながる研究開発を進めるため、選抜されたモデルケースについて京都内科医会の理事会・京都府立医大倫理委員会での検討が行われ、京都内科医会の開業医の先生方による臨床研究が行われ、良好な結果が得られました。

平成21年度は、新たな試みとして、会員の皆様が持つシーズを会員に発表し、交換する場を持ち6シーズの発表が行われました。

さらに、研究会は、15回を数え、様々なテーマでのシンポジウムを行いました。

この度、下記の通りリニューアルいたしますので、改めてご案内申し上げますとともに、ご参考までに、第1回目の研究会ご案内を同封させていただきます。

農林水産省では、今年度から、新たに「農林水産研究基本計画」をまとめ、農産物の機能性成分の開発や実証を通じて、高血圧、脂質代謝異常などの生活習慣病を予防する作用メカニズムの解明と技術を開発するとしています。

昨年7月には、吉川教授が理事長を務める、アグロメディカル・イニシアティブが立ち上げられました。ここでは、**医学的に疾病予防上の有効性が実証された食品・アグロメディカルフーズ（工業製品の食品・農業製品の食品）**を利用することで健康を維持・向上させるための活動（図参照）が行なわれております。

「食生活と運動の機能性に関する研究会」発足時の課題であった、臨床医・各専門分野の第一人者と開発者との連携と相互理解による機能性食品開発・商品化はさらに進めて行き、医師が認め、消費者に期待される機能性食品の開発を通じて、高齢化社会における健康の維持、疾病・老化の予防、我が国の食産業の発展を行う必要があります。

そこで、今年度からは、「食生活と運動の機能性に関する研究会」の名称を新たに、「生活習慣病予防のための機能性食品開発に関する研究会」 アグロメディカル・イニシアティブとの連携 と改め、さらに活動を積極的に進めていきたいと考えております。

具体的には、

- 1 . アグロメディカル・イニシアティブからの最新情報の提供
- 2 . 医師など各専門分野の第一人者に疾病の発症機序とそれに対する食品の役割について詳しく解説をいただきます。それは今後の食品開発に必ず役立つものと考えます。年に4回程度のシンポジウムを行います。
- 3 . 昨年好評をいただいた、会員の皆様が持つシーズを会員に発表し、交換する場を設けます。
- 4 . 良い素材があれば、内科医会の開業医の先生方による臨床研究を行ないます。
- 5 . 会員様には上記に参加できるとともに、吉川教授はじめ委員の先生方への相談など、近畿バイオインダストリー振興会議を通じて自由なアクセスが可能です。
- 6 . 企業のニーズに応じ、素材の測定、素材の紹介、人材の紹介など各地の地域クラスター等との連携や情報発信を行います。

本年度も、皆様の深い御理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

研究会委員長： 吉川 敏一（京都府立医科大学内科学教室 教授）

事務局長：田中 隆治（近畿バイオインダストリー振興会議 副理事長）

参加費：

NPO 法人近畿バイオ会員企業 5万円/年（1社3名まで参加可能）

NPO 法人近畿バイオ非会員企業 10万円/年（1社3名まで参加可能）

本件の問合せ先：NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議

遠山、井上、藤川、大嶋

TEL：06-6459-6795 FAX：06-6447-7011

E-.mail：moshima@kinkibio.com

